

ひだまり

目次	
創刊にそえて	1
さくら千手園	2
平成9年度運営方針	2
千手園日記	2
作業班紹介(園芸班)	3
クラブ紹介(写真・水泳)	3
木の宮学園	4
平成9年度運営方針	4
木の宮日記	4
作業班紹介(木工班)	5
グループ活動紹介 (マラソン・音楽)	5
保護者会	6
アプローチ	7
治療教育学(その1)	7
表題紹介	7
情報フラッシュ	8

さくら千手園 佐倉市青菅1019 043-462-2008 木の宮学園 佐倉市青菅1051 043-463-1008



第11回運動会 (5月25日・青菅小学校体育館)

創刊にそえて

理事長 恵下 均

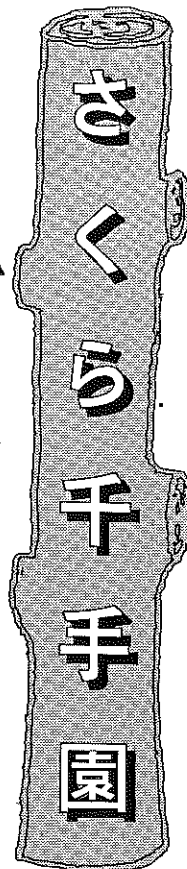
花を尋ねれば香り衣に満つ

ひとつのことに一生懸命取り組んでいると、長い間には、人としての深みが自然と身についてくるという高僧の教えがあります。

社会福祉法人千手会は、十周年を迎え、ここに関わったすべての人の努力により、根はしっかりと張りめぐり、幹は少しづつ太くなり、勢いある枝葉が伸びてきています。そして、この「ひだまり」によって、味のある花を咲かせることができるのではと期待しています。

「さくら千手園」・「木の宮学園」の広報誌として、多くの方に読んでいただき、相互理解の掛け橋として、福祉に携わる私たちの切磋琢磨の場として、実りあるものになるよう努力していきます。

新しい福祉の潮流の中で、障害者の個々の願いや柔軟な発想をしっかりと受けとめ、心の中までわかばかど暖かくなるようなメッセージを送ることができればと願っています。



平成9年度 運営方針

―サービスの専門性と
施設機能の充実期間(1)―

昭和62年6月開園、本年度10周年を迎えました。開園当初5年間は「施設内容の充実期間」とし、施設・設備の基盤整備に力を注ぎ、援助活動が安定的に提供できるよ
う努めました。次の5年間は「処
遇内容の充実期間」とし、援助活
動全般の見直しを行いました。ま
た、個別担当からグループ担当へ
移行しチームワーク優先の援助と
生活環境の再点検を行い、ゆとり
ある快適な生活を目指しました。
本年度からの5年間は「サービス
の専門性と施設機能の充実期間」
とし、優れた介護技術・治療教育
などの能力開発、社会自立支援、
医療機関との連携による医療機能
の充実など専門職集団としてより
高いレベルのサービスを提供でき
るよう努力すると共に、地域で暮
らす在宅障害者に必要なサービス

(短期入所事業・療育相談事業・
入浴サービス事業など)がより一
層提供できるよう施設機能の充実
を図ってまいります。

本年度は、①処遇面では「介護
技術と治療教育」をテーマに②健
康管理面ではインフルエンザの予
防接種を③給食面ではO-157など
の食中毒予防を④日課面では生活
の質の向上を⑤行事面では親子宿
泊旅行を木の宮学園と合同で、ま
たニード別外出は昨年度同様2泊
3日で⑥防災面では災害緊急時の
物資の整備などに重点をおいて実
施いたします。また、法人として
⑦職員組織の変更(援助課と管理
課に)⑧対外向け広報誌の発刊が
あります。
事業は順調に実績を上げてきてお
り、昨年度の問題点の改善事項を
除き、概ね昨年度事業を踏襲して
まいります。

(園長 恵下 均)

〈体力測定〉

4月10日柔かな春の
日ざしのもと、今では、
すっかり恒例となった
第10回目の体力測定が
実施されました。



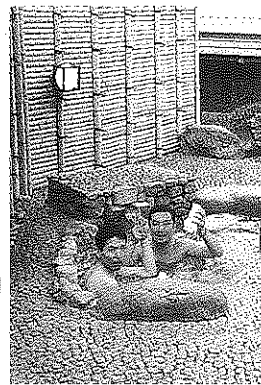
午前中屋外でのボール
投げ・立幅跳び・急歩
が行われ、午後には屋内
で、跳躍・握力・背筋
力・体前屈・上体そら
しの8種目が実施されま
した。

利用者の皆さんは、実施日の1週間も前から
心待ちにしてこの日を迎えただけに、全員が
張り切って各種目に取り組んでいました。第
1回目の実施の際は、利用者の方々も職員も
どうやればいいのかとまどいながら、終日、
遅くまでかかって実施しました。回を追うご
とにスムーズに行えるようになり、今では本
来の目的に加え、利用者の方々の楽しみの方
針のひとつになっています。

(岩本)

〈ニード別外出〉

4月15日から17日まで、花見・温泉を目的
としたニード別外出を行いました。群馬
県赤城高原へ、利用者9名・職員4名で出
掛けました。桜の花が満開で綺麗な並木道
を歩けたことや皆で一緒に温泉に入り、長
い間つかって体がふやけそうになったこと。
食事がバイキングであったので、自分たち
でお皿を持ち、上手に取って食べたこと。
ドイツ村でボートや電車に乗って遊んだこ
と…等々、楽しいことばかりでした。



今振り返ってみると、
どれもが楽しい思い出
です。楽しい時間とい
うのは、本当に早く過
ぎてしまうもので、あ
っという間の2泊3日
の旅行でした。

又、みんなで桜の花
の下、のんびりとした
日を過ごせればと思
います。

(榎本)





こんにちは!!

わたし達、園芸班は全員参加をモットーに、夏はTシャツに
 麦わら帽子をかぶり、冬はジャンパーを着こんでハウスや畑で
 作業し、そのあとのお茶を楽しみに毎日がんばっています。
 作業の内容は人それぞれで、力持ちには土や鉢を運ぶ運搬名人、
 シャベルやスコップをうまく使う人には土入れ名人、器用な人
 にはさし木や種まきの専門職とチームワークを大事に仲良くやっ
 ています。そして、きれいな花、元気な木々が育つ事を願って、雨
 にも負けず風にも負けず、作業をしています。

園芸班カレンダー

- 春～チューリップ、ムスカリ、水仙、紅花、矢車草、スターチス
「種まきや花をきったりいそがしいよ～」
- 夏～グラジオラス、ひまわり、かすみ草
「この時期、取っても取っても草がでてきちゃう」
- 秋～りんどう、コスモス、菊
「春に向けて、球根植えなきゃ!!」
- 冬～ビオラ、シンビジウム、カランコエ
「落ち葉を集めて腐葉土作りだ」
この他にもイチゴやハーブもやっています。
一度覗きにきて下さい。(蜂谷)



作業班紹介園芸班



* 毎月利用者の希望をと
り、選択式のクラブを
実施しています。

(伊東)

めざせ!! コンクール
 はじめまして、今年度か
 らできた「写真クラブ」で
 す。利用者も職員も素人の
 ため、今はまだ、名作とい
 うよりも迷作の写真が多い
 のですが……ファインダー
 を覗けば、気分は「カメラ
 マン」とても楽しく写真を
 撮っています。
 個性的な写真をたくさん
 撮って、皆さんにフアイン
 ダーの中の別世界をお見せ
 できれば何よりです。また、
 人生の思い出になるような
 写真がいつか撮れるように
 なる事を信じて、その日ま
 で、腕とカメラを頑張って
 磨いておきたいと思えます。

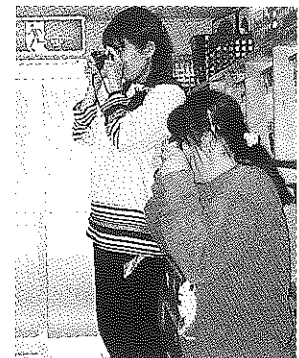
水泳

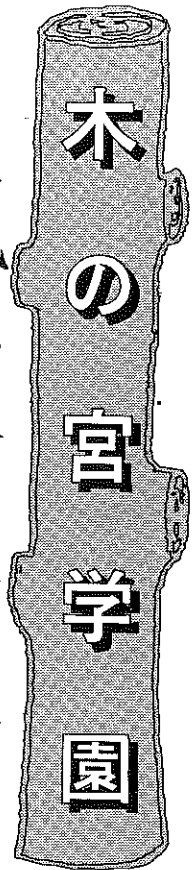
クラブ紹介

写真

今までは、水遊びが主体
 で活動して来ましたが、こ
 れからは、技術面に力を入
 れ活動していきたいと思っ
 ます。
 ストレス解消や運動不足
 の方はレッツゴースイミング!!
 (松田)

水泳クラブは、今年で2
 年目のクラブです。
 四街道市の温水プールや
 夏季には八千代市の屋外プー
 ルを利用し、活動しています。
 屋外プールでは着帽が義
 務づけられているので、最
 初の頃は利用者に帽子をか
 ぶってもらうのに、職員が
 てんでこまいしていました
 が、最近になり、皆さん帽
 子をかぶる事に慣れ、本来
 の水泳クラブの活動ができ
 るようになってきました。





平成9年度 運営方針

— 家族支援・在宅福祉支援 —
地域の福祉教育への支援

平成4年4月に開園し、本年で5周年を迎えました。当初、27名でスタートした利用者数も、昨年度で定員一杯の40名となり、本年の4月より地域からのニーズに対応するため10名の定員増を行い、現在では49名の利用者が通園しています。施設の運営方針としては、第一に知的障害をもつ大人の活動と学びの場であり、利用者の一人一人が豊かな人間性と個性を備えた大人として充実した生活を築いていくことを援助していく。第二に知的障害をもつ人々の地域生活を支える援助サービスの拠点としての役割をもつ。第三に知的障害をもつ人の家族への援助と支援をする専門職集団であることです。この方針を基本とし、事業を進展させてまいります。

当初の5年間は、「施設・設備等のハード面の整備」「利用者の

主体性を尊重する援助」「地域社会との交流」それぞれを基盤を整えることを目指し、取り組んできました。引き続き、今後の5年間は、「家族支援」「在宅福祉支援」「地域の福祉教育への支援」を重点として取り組んでいきます。

本年度は、①家族支援では、昨年度より始めた「学園利用時間延長サービス（短時間レスパイト）」をより充実させ、入所施設での短期入所事業を利用する前段階での宿泊体験を検討していく。②在宅福祉への支援では、佐倉市在宅障害者ミニデイサービス事業でのメニュー内容を充実させ、さくら千手園と連携し、入浴サービスを実施していく。③地域の福祉教育への支援では、昨年度より新たに企画した学園祭行事を中心に、昨年度と同様、近隣の中学、高校等と連携し、交流する機会を設け、ボランティアの育成を図ります。

(園長 稲阪 稔)

チューリップまつり

4月12日から16日にかけて印旛沼湖畔の佐倉ふるさと広場で開催された「チューリップ祭り」を見学してきました。色彩やかな13万2千本のチューリップを前にして楽しく過ごして来ました。

毎年、恒例となっており利用者の方々も楽しみにしている外出のようです。何故かと言うと、お好み焼き、たこ焼き等の出店が多く出ているからです。(山崎)



スポーツたいかい

第24回 印旛地区 障害者スポーツ大会に参加しました。



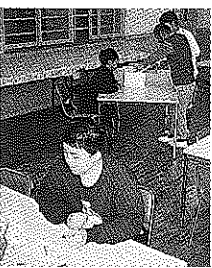
木の宮日記

交流を深める為に行われています。当日は、天候に恵まれ気持ちの良い汗を流して来ました。風船競争やパン食い競争など色々な種目があり、利用者の方もハッスルして楽しんでいました。夕方には、皆さん顔が真っ黒に日焼けしており、より一層たくましく感じられました。(河野)

ひまわり会 せんきょ

木の宮学園の主人公は利用者です。その中から代表者として8名の利用者が立候補しました。

応援者1名を付け、選挙運動を行い、演説会を開き、皆さんに抱負を語っていただきました。その結果8名全員が当選しました。就任期間は、1年です。ひまわり会とは、「一人がみんなのために、みんながひとりのために」を合い言葉に、支え合い豊かな活動の場を作っていく事を目標としています。学園生活の中の身近な問題や利用者の声を取り上げ、会議を1つ1つ開き話しています。頑張ってください。(山崎)



作業班紹介

新しい作業棟も完成し、心新たにスタートをきることが出来ました。木のチューリップ作りを中心に、利用者の方々と職員4名で毎日の仕事に励んでいます。作業内容としては、電動糸ノコで木を切る人、木を磨く人、ペンキを塗る人、組立てる人など、自分達のできる仕事を分担して行っています。特に電動糸ノコの仕事は始めは職員の仕事でしたが、今では2名の利用者の方が使い方をマスターし、とても上手に木を切ってくれています。この様に、少しずつではありますが職員の仕事が利用者の仕事へと変化していくようです。その他にも、カーテンタッセルやタオルハンガーなどのかわいい小物も作っています。それらは、バザーや作品展、学園の近くの喫茶店などで売らせて頂いています。いつも作るのが追いつかず在庫不足に悩んでいます。(一つ作るのに、



非常に時間がかかります。) 一つの心に残ったエピソードを紹介。二年前に、佐倉のチューリップ祭りに出店した後、しばらくしてから千葉市の主婦の方と3才の子供さんから手紙を頂きました。

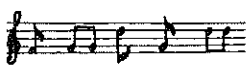
チューリップ祭りの時に見かけたが、白色しか買えなくて子供さんが「あと、赤色と黄色があればチューリップの歌の通りだね。」と話し、どうしても欲しいとの事で、こちらも早急に作り送って差し上げました。

後日、お礼の手紙とかわいいチューリップの絵が届き、大変嬉しく思いました。多くの家庭で木工班の木のチューリップが飾られている事と思います。これからも、かわいい家庭雑貨を中心に「木のぬくもり」と私達の「心」をお届けしたいと思っています。(渋谷)

マラソン

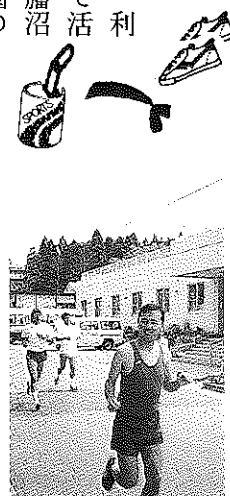
現在、マラソングループは、利用者5名と職員1名の計6名で活動しています。晴天時は、印旛沼サイクリングコースや上座公園の芝生の上など、雨天時には八千代市市民体育館の室内コースなどを用いて練習しています。練習は楽しく無理なくを基本に、各自のペースで行っています。勿論、走る事だけでは飽きてしまいますので様々な補助運動を皆で考えていきたいと思っています。夏場には水泳を計画中です。そして、これらの練習で培った力で駅伝大会や一般のロードレース大会へと参加して行きます。野外での練習や一般大会等に出場し、そこで多くの人に触れ合うことで、良い刺激を沢山受けて行きたいと思っています。

(宇田川)



グループ紹介

立口楽



木の宮学園音楽グループを皆さんに紹介します。わがグループの人数は、利用者9名と職員1名の10名で行っています。主な内容は、歌を唄ったり、楽器演奏が中心です。歌は四季に合った曲・アニメソング・伝承歌・歌謡曲など幅広く挑戦。どの曲もすんなりと利用者の方に浸透していき、1曲が終わると「さて次の曲は？」と次への曲の要求をする人や曲に合わせて腰振りダンスを見せてくれる人や独自の足ぶみリズムで、ピアノの曲を引き立ててくれる人等、特長が出て、私も楽しく、皆さんに負けずに大きな声を出して、唄ったり踊ったりしています。2時間あまりの時間を、楽しく過ごしています。読者の方、是非この音楽グループを見学に来て一緒に歌を唄ってみませんか。(彦田)

「ひだまり」の創刊に寄せて

さくら千手園保護者会

会長 斎藤 嘉広



「ひだまり」の発刊、心よりお喜び申し上げます。

田植えを終えた早苗の上を、清々しい風が通り抜ける風景が今年も見られます。思い起こせば10年前の丁度今頃、関係部署の皆様、恵下均尊園長などのご尽力により、印旛郡市にさくら千手園が創立されました。心身に障害を持つ人々は勿論のこと、その家族の誰もが待ち望んでいました。そして届いた入園許可書に、歓喜したことを今でも、昨日のことのように思い出されます。

期待に胸を膨らまして入園した利用者達ですが、これは同時に自由気ままな生活との決別の時でもありました。それまでとは勝手が違う園での団体生活、日課の中で習得する様々な事柄など、とても大変な想いをしました。

その利用者の大きな支えとなつて下さったのが、園長先生を初めとする指導員の方々の献身的な姿勢でした。これまでに、他の福祉施設で働いて来た指導員の豊富な

経験と、若い指導員のひたむきな姿勢が、見事なハーモニーを奏でたのです。今思えば、設立間もない施設の運営は、さぞご苦労が多かったことと思います。その状況下でも、運動会・クリスマス会・旅行などを初めとする行事を企画し、保護者間の親睦を図り、また地域に根付こうとご努力された姿に御礼を申し上げます。

またイベント毎にご協力を下さった地域のボランティアの方々のご存在は大きなものでした。

保護者会は、園の設立より少し遅れて誕生しました。これまで、園との連携を保ちつつ、保護者間の親睦を図ってきました。そして更なる飛躍を目指して、通所の施設・木の宮学園の保護者会の皆さんとも手を取り合せて、ゆっくりでも一歩一歩着実に進みたいと考えていますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆になりましたが、「ひだまり」がたくさんの皆様に愛読されることをお祈りします。

「ゆとり」への想い

「虹の会」木の宮学園保護者会

会長 俵山 昌子



開園6年目となった木の宮学園は、50名の利用者を迎え、新しい出発の年となりました。利用者自身が「より主体的に」「より自主的に」をモットーに、充実した学園生活が送れるように援助して下さいます。5種類の作業・グループ活動・様々な外出・その他サービスマスなどが、行動範囲も広がり、昨年は合同の絵画展が園外開催され、テレビ等での紹介もあり、益々意欲をかきたてられた人もいたようです。一人一人の人權を認め、自己選択を基礎とした学園生活を利用者の皆さんは楽しんでるようです。その中に時々紛れ込んでいる私ですが、「久しぶりだね」と、声を掛けてくれる人「私、ラブレター書いたよ。返事ももらったよ。」と、大切に持ち歩いている人「元気？」と、顔を覗き込んで手を握ってくれる人、体中で思いを表現する人と、様々ですが、何とも嬉しくて、楽しく「今日も皆と会えて良かった」と思います。

行政も、障害者対策等考えて下さいますが、手を差しのべて欲しい人が……。手を差しのべて欲しい時に……。いつも切り捨てられて、情報社会と言われているのに情報が届かなくて、みんな平等のはずなのに」と、その度に悔しい思いをしてみました。家族や保護者自身の高齢化、介護や自分自身の病気の問題、それに伴い利用者の老後の問題等、周囲を見渡しては、さて、どうしたらよいのかと、途方に暮れてしまいます。まだまだ話し合い、考えていかなければならない事が山積みの様です。けれど学園の建物の周りには、心ならずも、失いかけているやさしさや、ゆとりを取り戻せそうなの、色とりどりの可愛い花が咲き、育っております。そんな学園に一層の期待をし、私達も共に頑張っていきたいと考えております。

これから10年20年先も益々木の宮学園が、利用者の為の学園であります様に心からお祈り致します。

行事予定

6月

- 1日 さくら千手園開園10周年
- 6日, 27日 日帰りニード別外出 (Ⓟ)
- 10日, 12日 2泊3日ニード別外出 (Ⓟ)
- 18日 千葉県による監査

7月

- 2, 4, 23日 日帰りニード別外出 (Ⓟ)
- 9日, 10日 ビーバー号歯科巡回検診
- 11日 パスハイキング (Ⓟ)
- 25, 29, 31日 グループ毎プール外出 (Ⓟ)
- 30~8/1日 2泊3日ニード別外出 (Ⓟ)

8月

- 9日 千手会夏祭り
- 10日~24日 夏休み
- 19日~20日 ミニキャンプ (Ⓟ)

9月

- 1日 千手会総合防災訓練
- 12日~13日 親子宿泊旅行(さくら千手園・木の宮学園合同)

ご寄付に感謝いたします

- (財)中央競馬馬主社会福祉財団 助成金として
- 園舎居室冷房設備(16台)
- (獨)千葉県共同募金会配分金として
- 電化製品一式
- 寺内とし子と仲間たち会様より

一〇〇,〇〇〇円

よろしくおねがいします!



木の宮学園指導員

小石 晃正

はじめまして、小石晃正です。小さな石が正しく日の光に輝くようにという意味

く日の光に輝くようにという意味

で付けた名前だそうです。「名前負けしているね。」ともよく言われます。これからは、利用者の方を照らしていけたらいいと思います。



木の宮学園指導員

中尾 一洋

いつも笑顔の中尾です。これから先、不安や悩みが向かって

こようと、それを笑って乗り越えていきたいと思えます。一日一歩、三日で三歩、三歩進んで二歩戻らず、常に前進していきたいと思えます。よろしくおねがいします。

木の宮学園指導員

植松 陽子

木の宮学園に来る前は、保育所の保育として働いていました。今は、保育所とは違う出来事が毎日のようにありますが、とても楽しいです。これからも利用者、職員の方々と楽しく過ごしていきたいと思えますので、よろしくおねがい致します。



お世話になりました

2年間大変お世話になりました。利用者の方や、職員の皆様から多くの事を学ばせて頂きましたが、中でも「人間は、人との関わりにおいて成長し、生かされている存在だ」と実感させて頂いた事は、私にとって人生の宝になると思えます。本当に有難うございました。

さくら千手園介助員 金森 泰江



おめでとつごいます

♡ご結婚

3月8日 島田 知則さん

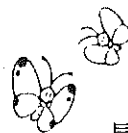
(さくら千手園)

★お誕生

4月2日 仲田 洋さん

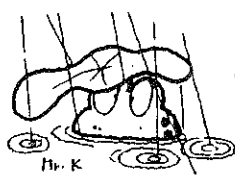
長女 和祈ちゃん

(さくら千手園)



無事に創刊号を発刊することになりました。初めての広報誌なので、読者の皆様に読みやすいものであったかどうか、いさ

さか不安な面もあります。社会福祉法人千手会 利用者・職員一同、今後楽しく、そして皆様に親しまれる「ひだまり」を発行していきたいと思っています。毎年、1月・6月・10月の年3回の発行予定となっております。今後ともご愛読下さるようよろしくお願い致します。



(金川)